

一般社団法人 宮城県臨床工学技士会

投稿規定

一般社団法人 宮城県臨床工学技士会

編集委員会

平成 23 年 11 月

# 抄 録 の 書 き 方

## 1. 目的

- (1) 抄録とは、それを読めば研究・実験などの概略がわかるものです。
- (2) これから発表を聞く人や読者は、実際の発表を聞いたり、論文に目を通したりする前には必ず抄録で大筋を把握します。

## 2. 書き方

### (1) 構成

#### 題名

題名だけで内容がほぼ想像できて、簡潔なものが理想的です。

#### 所属施設名

医療法人 会や社団法人 会は必要ありません。一般的には病院名+所属で良いでしょう。例：東北厚生年金病院 臨床工学室

#### 発表者

発表者が分かるように発表者の名前の前に をつけて下さい。

例： 菊地 徹

#### 共同演者

発表者と職種、部署が異なる場合は、それぞれの氏名、部署に上付きの数字を付けて下さい。

異なる例： 菊地 徹、千葉美樹<sup>1)</sup>、工藤剛実<sup>2)</sup>

東北厚生年金病院 臨床工学室、仙台市医療センター仙台オープン病院 臨床工学室<sup>1)</sup>、東北文化学園専門学校 臨床工学科<sup>2)</sup>

#### 本文

##### (1) 緒言（はじめに）

研究の目的、目標や問題の定義、論文で取り扱う範囲、背景などを述べます。

##### (2) 研究方法（対象、症例、方法）

研究対象、状態や条件、データ評価の統計的処理法について詳しく記載します。

##### (3) 研究結果（結果）

客観的データで、文としては過去形で書きます。

##### (4) 考察

他人の成績（文献）と比較しながら、自分の成績の意味を説明し、自分の考えを主観的記述で、現在形で書きます。

##### (5) 結論（結語、まとめ、おわりに）

実験成績と考察のまとめを主としますが、実験方法に少し触れる場合もあります。しばしば箇条書きにされます。

の順で記載してください。

(2) 作成ソフト

Microsoft MS Word 形式で作成し、当技士会編集委員会へファイルを提出して頂きます。

(3) 文字数およびフォント

文字数は一般的に 600～800 字です。

フォントサイズは 12pt で記載して下さい。

読点には「、」、句点には「。」を用いて下さい。

フォントは日本語、英数字すべて MS 明朝で作成して下さい。その際、英数字は半角で作成して下さい。

Mac で作成する場合は、日本語・英数字すべてヒラギノ明朝を使用して下さい。

## 発表・投稿論文の書き方

1. 原稿の提出

(1) 発表論文

一般社団法人 宮城県臨床工学技士会勉強会で発表した内容を文章化して、現行を提出して頂きます。

(2) 投稿論文

自分の意思で投稿する論文です。

他学会誌に投稿していない論文に限ります。

2. 投稿資格

論文の筆頭著者は原則として当技士会会員とします。

3. 原稿作成の基本

(1) 作成ソフト

Microsoft MS Word 形式で作成し、当技士会編集委員会へファイルを提出して頂きます。

(2) 文字数およびフォント

フォントサイズは 12pt で記載して下さい。

読点には「、」、句点には「。」を用いて下さい。

フォントは日本語、英数字すべて MS 明朝で作成して下さい。その際、英数字は半角で作成して下さい。

Mac で作成する場合は、日本語・英数字すべてヒラギノ明朝を使用して下さい。

(3) 図表の書き方

(4) 見出し番号

.....見出し

1.....小見出し

1)

(1)

の順で記載して下さい。

4. 構成

原稿 1 ページ目

(1) 表題

- 題名だけで内容がほぼ想像できて、簡潔なものが理想的です。
- サブタイトルを用いる場合は、前後にハイフンを付けて下さい。

(2) 所属施設名

- 医療法人 会や社団法人 会は必要ありません。一般的には病院名+所属で構いません。例：東北厚生年金病院 臨床工学室

(3) 著者名

- 実際に発表・投稿原稿を書かれた方の氏名です。

(4) 共著者

共著者は著者に続いてその実験に貢献度が高い順に記載し、最後に所属長や医師を記載します。

1名で行った場合は、その部署の年齢順(若い順)に記載し、最後に所属長を記載します。

著者と所属施設が異なる場合は、それぞれの氏名、所属に上付き数字を付けて下さい。

例：菊地 徹、千葉美樹<sup>1)</sup>、工藤剛実<sup>2)</sup>

東北厚生年金病院 臨床工学室、仙台市医療センター仙台オープン病院 臨床工学室<sup>1)</sup>、東北文化学園専門学校 臨床工学科<sup>2)</sup>

例え所属が同じでも医師や看護師のように他職種が共著者の場合も同様に氏名、所属に上付き数字を付けます。

例：菊地 徹、千葉美樹<sup>1)</sup>、工藤剛実<sup>2)</sup>

東北厚生年金病院 臨床工学室、同 看護部<sup>1)</sup>、同 心臓血管外科<sup>2)</sup>

## 原稿 2 ページ目から

### (1) 本文

#### 緒言（はじめに）

研究の目的、目標や問題の定義、論文で取り扱う範囲、背景などを述べます。

#### 研究方法（対象、症例、方法）

研究対象、状態や条件、データ評価の統計的処理法について詳しく記載します。

#### 研究結果（結果）

客観的データで、文としては過去形で書きます。

#### 考察

他人の成績（文献）と比較しながら、自分の成績の意味を説明し、自分の考えを主観的記述で、現在形で書きます。

#### 結論（結語、まとめ、おわりに）

実験成績と考察のまとめを主としますが、実験方法に少し触れる場合もあります。しばしば箇条書きにされます。

の順で記載してください。

## 本文の例

社団法人 日本臨床工学技士会「学術論文作成の手引き」より抜粋

### .目的

回路内部での血栓形成の原因として...

### .実験対象と方法

#### 1.対象

本実験の対象は...のA 群（表1）...

#### 2.方法

##### (1)実験回路

実験回路（図1）は..

##### 実験機材

##### (2)検討方法

得られた数値をt-検定で...

### .結果

実験の結果を表3 に示す...統計学的に有意な差が認められた。

### .考察

我々の実験結果は山田ら<sup>5)</sup>の実験結果と異なるが、これは...と考えられる。

### .結論

1) ...のため検証実験を行った。

2) その結果...であった。

3) この...は正しいと考えられる。

参考文献（1枚の用紙に記載します）

(1) 本文中の参考文献番号は上付き数字を記載して下さい。

例：鈴木らの報告では<sup>1)</sup>、  
 このような安全装置に関しては<sup>1)、2)、5)</sup>、  
 今まで多くの実験から得られたように<sup>1-8)</sup>、

(2) 記載方法

雑誌の場合

著者名、共著者名、共著者名、ほか：論文題名・雑誌名、巻(号)；初頁  
 終頁、発行年（西暦）。

書籍の場合

著者名：書名・版、出版地、出版社・発行年（西暦）・初頁終頁。

漢字および仮名書きにする語

漢字を用いてはいけない例

宛も	あたかも	併し	しかし	殆ど	ほとんど
或る、有る	ある	即ち	すなわち	先ず	まず
如何なる	いかなる	総て、全て	すべて	勿論	もちろん
所謂	いわゆる	為に	ために	以て	もって
於いて	おいて	誰	だれ	判る	わかる
及び	および	尚	なお	僅かに	わずかに
如く	ごとく	の外	のほか		
毎に	ごとに	筈	はず		

なるべく仮名書きにする語

且つ	かつ	それ故	それゆえ	又は	または
が在る、有る	がある	但し	ただし	全く	まったく
が無い	がない	出来る	できる	若しくは	もしくは
する事	すること	で良い	でよい	の通り	のとおり
する程	するほど	と言う	という	の処	のところ
その位	そのくらい	と共に	とともに	の様に	のように

原則として漢字を使用する語

あかるく	明るく	げんに	現に	つねに	常に
いたって	至って	さらに	更に	とくに	特に
いっさい	一切	さる	去る	とつぜん	突然
おおいに	大いに	すこし	少し	なに	何
おそらく	恐らく	すでに	既に	ならびに	並びに
およぼす	及ぼす	じつに	実に	のばあい	の場合
かならず	必ず	そのさい	その際	はじめて	初めて
かれ	彼	たいてい	大抵	はたして	果たして
かろうじて	辛うじて	たえず	絶えず	ふたたび	再び
きたす	来す	たがいに	互いに	もっとも	最も
きたる	来る	たとえば	例えば	もっぱら	専ら
きわめて	極めて	ついで	次いで	わたくし	私
がいして	概して	つぎに	次に	われわれ	我々
ぐうぜん	偶然	つとめて	努めて		

(3) その他

氏名の書き方 3文字以下の氏名の方は、苗字と名前の間にスペースを入れます(菊地 徹)。4文字以上の氏名の方は、スペースを入れずに表記します(工藤剛実)。

単位の書き方での注意点

ml(ミリリットル)やdl(デシリットル)、l/min(リットル/分)などの場合、l(リットル)を大文字表記します。

ml mL、dl dL、l/min L/min

カタカナ表記 最近はカタカナ表記をする機器、部材が増えたため、抄録・論文でもよく目にします。しかし、同じ語句でも著者によっては「長音符号 = 伸ばす棒」を付けている場合と付けていない場合があります。

例) モニター-vs. モニタ、リザーバー-vs. リザーバ、コンピューター-vs. コンピュータ、ペースメーカー-vs. ペースメーカ etc

JIS規格では、

- (1) その言葉が3音以上の場合は長音符号を付けない  
エレベータ、
- (2) その言葉が2音以下の場合は長音符号を付ける

カー、カバー、エアー

(3) 複合語はそれぞれの成分語について、1,2 を適応する。

モーターカー モータカー

とはなっていますが、各業界、団体で明確ではないようです。

日本臨床工学技士会や日本体外循環技術医学会でも統一されていないようで、  
実際は査読者が判断しているようです。